

## 渋川市20周年記念事業 「育てよう！縄文の森プロジェクト」について

教育部文化財保護課

### 1 概要

史跡瀧沢石器時代遺跡の保存整備事業に伴い、縄文時代の植生環境を市民とともに復元する「育てよう！縄文の森プロジェクト」を進めています。

このプロジェクトは、渋川地域に自生する植物から種実を採取し、市民の手で苗木を育てて史跡に植樹する「植樹プログラム」と、縄文時代に関する講座や、どんぐり等の森の恵みを活用する体験型の「体験活用プログラム」で構成されています。

「親子参加型」「市民協働型」「市民参加型」「学校参加型」の4つのプロジェクトで参加者を募集し、参加者にはプロジェクトごとに設定した取り組みに参画していただいています。

参加者が育成した苗木の植樹を通じて縄文時代の植生環境を再現するとともに、講座や体験を通じて史跡瀧沢石器時代遺跡や縄文時代、地域の歴史・文化への理解を深め、未来へ縄文の森を引き継ぎます。

2 プロジェクト期間 令和7年10月～令和9年6月頃  
※どんぐりから苗木を育成するため、長期間にわたります。

### 3 各プロジェクトの取り組み

#### (1) 親子参加型

- ・対象：小中学生とその保護者
- ・参加者：12組36名
- ・内容：全8種の堅果類（どんぐり等）の採集から植えつけ、育苗までを親子で体験します。どんぐりの採集は赤城自然園で行い、自宅で育成して、苗木の成長を家族で見守ります。期間中は、縄文時代に関する講座や、植物利用を学べる体験活用プログラムに参加していただきます。
- ・活動状況



赤城自然園でのどんぐり採集活動（R7.10.13）



採集したどんぐりの洗浄、選別作業（R7.10.13）



採集したどんぐりをプランターに植え付ける作業 (R7. 11. 1、2)

## (2) 市民協働型

- ・対 象：高校生以上
- ・参加者：12人（高校生、30代、40代、50代、60代、70代）
- ・内 容：全32種の種実を採集・植えつけ・育苗などを市職員と協働で行います。また、体験活用プログラムの試行や新たなプログラムの立案を行っていただきます。史跡整備後も継続して瀧沢石器時代遺跡の活用事業に携わっていただける人材を育成していきます。
- ・活動状況



プロジェクト説明会 (R7. 10. 11)



どんぐり採集 (R7. 10. 25)



どんぐりの殻割り作業 (R7. 11. 11～15)



どんぐり染め試作作業 (R7. 12. 13)

(3) 市民参加型

- ・対象：参加希望者
- ・参加者：22人
- ・内容：市が配布するどんぐりを自宅で育てていただいています。期間中は、植物利用を学べる体験活用プログラムに参加できます。



どんぐり配布及び栽培用プランター等配布 (R7. 11. 11～)

(4) 学校参加型 (参加希望校を対象に実施)

- ・参加校：金島小 (4年生)、渋川西小 (1・2年生)、中郷小 (2年生)  
三原田小 (2年生)、津久田小 (5年生中心)
- ・内容：どんぐりを中心とした堅果類8種の植えつけから育苗、仮植樹までを行います。文化財保護課のサポートのもと、主に水やりなどの育苗管理を学校で行っていただいています。また、どんぐりや縄文時代に関連した出張型の体験授業も実施しています。
- ・活動状況  
「金島小」



どんぐりの殻割り作業



どんぐりの植え付け作業

「渋川西小」



赤城自然園でのどんぐり採集



どんぐりの植え付け終了後

「中郷小」



メイプルビレッジでのどんぐり採集



どんぐりの植え付け作業

「三原田小」



どんぐりの分類体験



どんぐりの植え付け作業

「津久田小」



モロコシ山でのどんぐり採集



どんぐりの植え付け作業

- ・令和7年度のこれからの予定
- ①どんぐりを食べてみよう
- ②縄文時代の道具でどんぐりを加工してみよう

#### 4 令和8年度各プロジェクトの予定

- (1) 親子参加型
  - ①各種体験事業（どんぐり食用体験、染色体験）
  - ②植え替え作業（6～7月頃）
  - ③各種講座
- (2) 市民協働型
  - ①体験活用プログラム試行・実施協力
  - ②植え替え作業（6～7月頃）
  - ③各種講座
- (3) 市民参加型
  - ①植え替え作業（6～7月頃）
  - ②各種講座
- (4) 学校参加型
  - ①植え替え作業（6～7月頃）
  - ②各種体験事業（染色体験）
  - ③出前授業

※その他、縄文時代に関する各種体験事業や講座を企画していきます

#### 5 その他

このプロジェクトは、(株)クレディセゾンとの包括連携協定に基づき、教育及び生涯学習の充実を目的に、赤城自然園の協力のもと実施しています。

## 参考

### 1 史跡瀧沢石器時代遺跡

史跡瀧沢石器時代遺跡は、大正15年に発掘調査が行われ、昭和2年に国指定史跡となった縄文時代の遺跡で、指定面積は43,367.14㎡です。指定後およそ70年間は農地として利用され、地域の人々によって守られてきました。平成5年、周辺での農村活性化住環境整備事業の計画を契機に保存整備計画の検討が始まり、平成8年度に「史跡瀧沢石器時代遺跡保存整備委員会」を設置。平成9年度から令和2年度にかけ、複数回の発掘調査が行われました。

これらの調査では、縄文時代早期から晩期にかけての多量の遺物が出土し、長期間にわたり生活の場として利用されていたことが判明しました。特に後期後葉から晩期中葉にかけての配石墓や配石遺構が多数確認され、当時の人々の精神性を示す祭祀の場として高く評価されています。



史跡全景（西から撮影）



配石遺構（東から撮影）